



2025 年 5 月 9 日

一般財団法人日本綿業振興会

「コットンの日」イベントを開催

COTTON AWARD 2025

受賞者決定 ゆうちゃみ さん

2025 年 5 月 9 日(金) / ホテル雅叙園東京

ビジネスセミナーも同時開催

日本紡績協会(大阪市/会長:尻家 正博)と一般財団法人日本綿業振興会(大阪市/理事長:尻家 正博)は、国際綿花評議会(CCI)(本部:ワシントン D.C./会長:Carlo Bocardo)、コットン・インコーポレイテッド(本部:ノースカロライナ州 会長/Marvin Beyer)の協力を得て、2025 年 5 月 9 日(金)にホテル雅叙園東京で「コットンの日 2025」のイベントを開催しました。

日本紡績協会では、国産綿製品需要振興活動を行う上で、夏物綿製品が一斉に店頭に並び始めるこの時期が最も適していることと、5(ご)と10(とお)の語呂合わせから、5 月 10 日を「コットンの日」にすることを提唱、日本記念日協会から正式に認定を受け、今年で 30 回目の記念日を迎えました。

この「コットンの日」を記念して、日本紡績協会と一般財団法人日本綿業振興会は協力して、毎年 5 月にイベントを開催し、天然繊維コットンの“やさしさ”や“爽やかさ”というイメージにふさわしい著名人を選出し賞を贈る「COTTON AWARD」を実施しています。

本年はモデルでタレントのゆうちゃみさんが「COTTON AWARD」を受賞。ゆうちゃみさんは、圧倒的な明るさと、こてこての関西弁であらゆる場を盛り上げる新世代として表裏のないキャラクターが、自然でピュア、様々なシーンで活躍するコットンのイメージに相応しいということで選出され受賞に至りました。

また、今年の「コットンの日」のイベント・テーマは、「Expanding Beyond Borders —— 国境を越えた成長へ」。少子高齢化や人口減少といった構造的課題の影響から、国内市場の縮小傾向は続いています。こうした状況を踏まえ、繊維業界が持続的な成長を実現するには、視野を世界へと広げ、海外市場への展開を一層加速させていくことが重要であるとの認識から欧米市場に精通された専門家の方々をお招きビジネスセミナーも同時開催いたしました。

ビジネスセミナーの内容は次の通りです。

「欧州連合の政策動向:コットン・サプライチェーンへの影響」

ヒルアンドノウルトン マルタ・ボンベリ氏

「トランプ政権の日本企業への影響」 明星大学教授 細川昌彦氏

「データに基づくアメリカ綿の持続可能性」 CCI 国際綿花評議会 ラズヴァン・ワンチャ氏

「コットンの日」を中心に日本紡績協会と一般財団法人日本綿業振興会は今後も日本製綿素材の需要拡充のために様々な活動を行って参ります。

本件について・写真素材等のお問合せは

一般財団法人日本綿業振興会 担当：福杓、佐々木まで

〒541-0051 大阪市中央区備後町2-5-8 綿業会館6階

電話：06(6231)2665 Mail：hfukumasu@cotton.or.jp

【COTTON AWARD 2025 選出理由と受賞者プロフィール】

ゆうちゃみ

ファッションモデルとしてデビューし、歌手、バラエティ番組や関西万博のスペシャルサポーターとしても大人気のゆうちゃみさん。圧倒的な明るさと、こてこての大阪弁であらゆる場を盛り上げる新世代を代表とされているところが、自然でピュア、様々なシーンで活躍するコットンのイメージに相応しいという理由で選出致しました。



■2001年9月8日生まれ 23歳 175cm

■大阪府出身

■雑誌『ピチレモン』、『Popteen』の専属モデルを経て、2023年4月まで雑誌『egg』の専属モデルを務める。

2022年にはブレイクタレント女性部門第一位に選出され、

2024年10月には「あなたに捧げる応援歌」で歌手デビュー。

地元の「東大阪市魅力PR大使」に任命され、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)のスペシャルサポーターにも就任。

■参考資料

1) 当日のプログラム

https://www.cotton.or.jp/registration2025/pdf/2025COTTON%20DAY_Invitation_A4_0507.pdf よりご覧ください

2) コットンの日(COTTON DAY) とは

5月10日は「コットンの日」。この記念日はコットンが夏物素材として店頭で勢揃いし、販売の最盛期を迎える“コットンのベストシーズン”であることと、さらに5月10日の語呂合わせで、1995年に日本紡績協会が提唱。日本記念日協会から正式認定を受け、制定されました。

3) 日本紡績協会 とは

日本紡績協会は、1882年10月に、明治初年以來近代産業の1つとして各地に勃興してきた当初の紡績会社により創設された紡績聯合会を前身とし、その後幾多の変遷を経て、1948年4月に日本紡績協会として再組織されました。創立以来100年を越すわが国でも最も長い歴史と伝統を誇り、また常に繊維業界の中核として大きな役割を果たしてきており、現在の会員は15社です。会員相互の親睦を図るとともに、紡績業共通の課題についての政府その他関係機関との連絡・折衝、統計報告の募集・発表、内外紡績事情等の調査、紡織加工技術に関する情報交換、労働・社会保障問題に関する連絡・折衝、内外に対する宣伝等の事業を行い、日本紡績業界の健全な発展を図ることを目的として活動しています。

URL: <http://www.jsa-jp.org>

4) 一般財団法人日本綿業振興会とは

一般財団法人日本綿業振興会は1956年、日本でのコットン・プロモーション計画を実施するため設立された団体です。日本紡績協会、日本綿花協会、日本綿スフ織物工業連合会、日本染色協会、日本織物中央卸商業組合連合会の5団体により構成されています。現在は、優れた日本製綿素材を使用した綿製品にコットン・マークを添付するジャパン・コットン・マーク計画、パブリシティ活動、教育出版等のほかコットン・インコーポレイテッドと締結した協力協定に基づくファッションおよび綿素材の情報サービスを実施しています。

URL: <https://cotton.or.jp/>

5) 国際綿花評議会(Cotton Council International)とは

米国の綿花や綿種子、米国綿製品の輸出促進のために、全米綿花評議会(NCC)の海外プロモーション部門として1956年に設立した非営利業界団体。アメリカ綿の消費拡大を推進するために、紡績、布地・衣料品メーカー、ブランド、小売、繊維業界団体、政府、

米国農務省(USDA)と協力しています。CCI の本部はワシントン D.C.、世界各国 20 か所に事務所を置き、50 か国以上で活動しています。

URL: <https://www.cottonusa.org/ja/> (日本語版ホームページ)

6) コットン・インコーポレイテッド(Cotton Incorporated)とは

米国の綿作農家と輸入業者が出資する非営利機関。1970 年の設立。米国内での消費者プロモーションを行う一方、新製品の研究開発、消費者意識調査、ファッションやカラーのトレンド調査を実施し、海外の米綿ユーザーに情報サービスを行っています。本部および研究所はノースカロライナ州ケリーにあり、大阪、香港、上海、メキシコに海外事務所を設けています。

URL: <https://www.cottoninc.com/>

7) 過去の COTTON AWARD の受賞者

	実施年度	受賞者		
第 1 回	2004 年度	菊川 怜さん	酒井 法子さん	賀集 利樹さん
第 2 回	2005 年度	石川 亜沙美さん	本上 まなみ さん	徳重 聡さん
第 3 回	2006 年度	上戸 彩さん	三船 美佳さん	中村 獅童さん
第 4 回	2007 年度	長澤 まさみさん	菊地 桃子さん	新庄 剛志さん
第 5 回	2008 年度	堀北 真希さん	小池 栄子さん	国分 太一さん
第 6 回	2009 年度	黒木 メイサさん	黒木 瞳さん	DAIGO さん
第 7 回	2010 年度	北乃 きい さん	辻 希美さん	佐藤 隆太さん
第 8 回	2011 年度	渡辺 謙さん	瀬戸 朝香さん	-
第 9 回	2012 年度	笑福亭 鶴瓶さん	忽那 汐里さん	SHIHO さん
第 10 回	2013 年度	米倉 涼子さん	石田純一さん&東尾理子さん	石田 理汰郎さん
第 11 回	2014 年度	壇 れい さん	片岡 愛之助さん	桐谷 美玲さん
第 12 回	2015 年度	井原 剛志さん	中村 アンさん	藤本 美貴さん
第 13 回	2016 年度	藤原 紀香さん	溝端 淳平さん	小芝 風花さん
第 14 回	2017 年度	佐々木 蔵之介さん	平 祐奈さん	-
第 15 回	2018 年度	広瀬 アリスさん	-	-
第 16 回	2019 年度	吉田 沙保里さん	-	-
第 17 回	2023 年度	影山 優佳さん	-	-
第 18 回	2024 年度	藤田 ニコルさん	-	-

2020 年から 2022 年はイベントがオンライン開催となったため、アワードは実施しておりません。